

奈良伊賀地域で産経新聞の購読試験・求人案内。



産経新聞 奈良県伊賀地区専売会

産経新聞社グループ各紙のご購読はこちら

事務局 ☎0742-24-2214

受付時間/平日9時~17時

専売会について

各専売店の紹介

地域貢献

求人内容

購読・試読サービス

最新ニュース



私たちと一緒に働きませんか!
求人情報

> 詳細はこちら

あなたの世界が広がる
購読・試読のお申込み

> 詳細はこちら

お問い合わせは
こちらから

生駒市の「生きいきカード」見直しへ 高齢化進み財政負担大きく

2016年01月14日 産経新聞奈良支局...最新ニュース

いいね! 0 シェア 0 ツイート Bookmark 0

生駒市は13日、70歳以上の高齢者に年間1万円相当のバスやタクシー券を一律助成している「生きいきカード」配布事業を見直す方針を明らかにした。高齢化率や介護給付費の増加が続く中、現状維持は今後の市財政に大きな負担となるため、17日に同市役所でタウンミーティングを開催し、小紫雅史市長が制度の現状を説明。住民とともに制度の今後のあり方や、より効果的な高齢者福祉施策について考える。

同制度は平成8年度から実施。市に住民登録している70歳以上を対象に、鉄道、バス、タクシー、生駒ケーブルの利用券(いずれも5千円相当)から自由に2つ選び、1人あたり年間1万円分を「生きいきカード」として配布している。同制度にかかる予算は26年度実績で2億305万円(利用者2万396人)、27年度の見込みは2億1260万円となっており、毎年右肩上がりで推移しているという。

市によると、市の人口に占める65歳以上の割合を示す高齢化率は27年10月1日現在で25.4%(3万774人)、同年の介護給付費は推計70億円。団塊の世代が75歳以上となる平成37年には高齢化率30%(約3万5千人)、介護給付費は120億円に膨らむと予想されており、「生きいきカード」事業を現行のまま実施すれば、同年の事業費は約2億9550万円に上る見通しという。

市の担当者は現行の一律配布について「本当に必要な方もあれば、自立して元気に活動している方、寝たきりの方などさまざまなケースがある」と分析。「財政状況や、高齢者1人1人の実態に見合ったより効果的な施策に転換する必要がある」としている。

タウンミーティングは17日午前10時~正午、市役所4階大会議室で開催。小紫市長や副市長、担当課職員が説明に当たる。参加無料で、手話通訳付き。庁舎が耐震工事中のため、駐車場が手狭になっており、市は公共交通機関の利用を呼びかけている。問い合わせは、市高齢施策課(☎0743・74・1111)。

【関連記事】

[マイナンバーカードでコンビニで住民票取得 生駒市が来年5月から](#)

[生駒市立病院に救急科新設 来年1月から](#)

[犯罪被害者と家族の苦しみ知って 生駒で支援コンサート](#)

産経新聞各紙



グループ各紙

